

お詫びと訂正

本誌121巻3号掲載の総説「第118回日本耳鼻咽喉科学会総会シンポジウム耳鼻咽喉科・頭頸部外科学研究の最前線ウイルス発癌研究の進歩—上咽頭癌と中咽頭癌の類似点と相違点—」において、図の改変引用についての記載、および該当論文の参考文献としての掲載がされておりました。お詫びして訂正いたします。以下のように図に追記するとともに、文献9を追加いたしました。

176ページ，図3 HPV 感染から発癌への過程

文献9より許可を得て改変引用

177ページ，図4 HPV E6 遺伝子発現が細胞に与える影響

文献9より許可を得て改変引用

177ページ，図5 HPV E7 遺伝子発現が細胞に与える影響

文献9より許可を得て改変引用

178ページ，図6 EBV 関連胃癌と非関連胃癌における PD-L1 発現例

文献17より許可を得て改変引用

179ページ，文献

以下の文献を追加し、これ以降の文献番号を繰り下げ

- 9) Sano D, Oridate N: The molecular mechanism of human papillomavirus-induced carcinogenesis in head and neck squamous cell carcinoma. Int J Clin Oncol 2016; 21: 819-826.